

# 2008年3月期決算 および 2009年3月期業績見通し

2008年4月24日

代表取締役会長兼社長

**藤沼 彰久**



2010年、  
日本の未来を提案します。

# 目次

---

**1. 2008年3月期決算について**

**2. 2009年3月期業績見通し**

**3. ビジョン2015**

**4. 2009年3月期の重点施策**

# 連結決算ハイライト

## ■ 前期との比較

(百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
売上高	322,531	342,289	+19,757	+6.1%
営業利益	43,897	52,664	+8,767	+20.0%
営業利益率	13.6%	15.4%	+1.8P	
経常利益	46,099	55,517	+9,417	+20.4%
当期純利益	27,019	28,157	+1,138	+4.2%
1株当たり当期純利益	¥132.95	¥138.52	+¥5.56	+4.2%
1株当たり年間配当金	¥36.00	¥50.00	+¥14.00	

# 業績予想との比較 (1)

(億円)

(連結業績)	2007年3月期	2008年3月期		
	実績	1/25予想	実績	予想差
売上高	3,225	3,550	3,422	△127
営業利益	438	550	526	△23
営業利益率	13.6%	15.5%	15.4%	△0.1P
経常利益	460	580	555	△24
当期純利益	270	310	281	△28

(注)1/25予想は、2008年1月25日発表の2008年3月期業績予想

## 業績予想との比較 (2)

(億円)

(業種別売上高)	2007年3月期	2008年3月期		
	実績	1/25予想	実績	予想差
証券業	1,417	1,630	1,521	△108
保険業	224	320	308	△11
銀行業	229	260	254	△5
その他金融業	238	280	274	△5
金融サービス業	2,109	2,490	2,359	△130
流通業	456	460	445	△14
その他産業等	658	600	617	+17
合計	3,225	3,550	3,422	△127
(品目別売上高)	実績	1/25予想	実績	予想差
コンサルティングサービス	298	320	303	△16
開発・製品販売	1,357	1,580	1,501	△78
運用サービス	1,265	1,390	1,408	+18
商品販売	303	260	209	△50
ITソリューションサービス	2,926	3,230	3,119	△110
合計	3,225	3,550	3,422	△127

# 2008年3月期 本決算のキーワード

## ➤ 営業利益3期連続2割成長、営業利益率も上場来最高達成

### ● 【内部環境】「さばく力」+「生産力」を維持

金融からの高い需要に対応  
生産性向上に加え、品質改善も順調にすすむ

### ● 【中長期への仕込み】R&Dや設備投資を継続

研究開発費・ソフトウェア投資ともに、前年同期比で大幅増  
新事業探索、次世代の大型共同利用型サービス開発へ向けて順調な投資

### ● 【外部環境】金融機関からの需要拡大は年度末で鈍化

金融機関の「ITを軸とした経営戦略」による投資が拡大したものの、  
年度末にかけて企業収益や設備投資の伸びが鈍化し、急速に景況感が悪化した

# 業種別連結売上高

(百万円)

	2007年3月期	構成比	2008年3月期	構成比	増減額	増減率
証券業	141,765	44.0%	152,152	44.5%	+10,386	+7.3%
保険業	22,444	7.0%	30,851	9.0%	+8,407	+37.5%
銀行業	22,981	7.1%	25,471	7.4%	+2,489	+10.8%
その他金融業	23,805	7.4%	27,496	8.0%	+3,691	+15.5%
金融サービス業	210,997	65.4%	235,972	68.9%	+24,975	+11.8%
流通業	45,637	14.1%	44,569	13.0%	△1,067	△2.3%
その他産業等	65,897	20.4%	61,746	18.0%	△4,150	△6.3%
合計	322,531	100.0%	342,289	100.0%	+19,757	+6.1%
野村ホールディングス	106,290	33.0%	104,808	30.6%	△1,481	△1.4%
セブン&アイ・ホールディングス	36,195	11.2%	37,611	11.0%	+1,416	+3.9%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む

(注)日本郵政公社については、2007年10月の民営・分社化以降、各顧客の属する業種に基づき集計

(2007年10月以降、かんぽ生命は「保険業」に、ゆうちょ銀行は「銀行業」に分類)

# 品目別連結売上高

(百万円)

	2007年3月期	構成比	2008年3月期	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	29,870	9.3%	30,333	8.9%	+462	+1.5%
開発・製品販売	135,702	42.1%	150,177	43.9%	+14,475	+10.7%
運用サービス	126,596	39.3%	140,865	41.2%	+14,269	+11.3%
商品販売	30,363	9.4%	20,913	6.1%	△9,450	△31.1%
ITソリューションサービス	292,661	90.7%	311,955	91.1%	+19,294	+6.6%
合計	322,531	100.0%	342,289	100.0%	+19,757	+6.1%



# 連結P/Lハイライト

(百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
<b>売上高</b>	322,531	342,289	+19,757	+6.1%
<b>売上原価</b>	234,578	238,537	+3,958	+1.7%
<b>外注費</b>	102,324	118,596	+16,272	+15.9%
<b>売上総利益</b>	87,953	103,751	+15,798	+18.0%
<b>売上総利益率</b>	27.3%	30.3%	+3.0P	
<b>販管費</b>	44,055	51,087	+7,031	+16.0%
<b>営業利益</b>	43,897	52,664	+8,767	+20.0%
<b>営業利益率</b>	13.6%	15.4%	+1.8P	
<b>営業外損益</b>	2,202	2,853	+650	
<b>受取配当金</b>	1,018	1,253	+235	
<b>経常利益</b>	46,099	55,517	+9,417	+20.4%

# 連結P/Lハイライト 続き

(百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額	増減率
<b>経常利益</b>	46,099	55,517	+9,417	+20.4%
<b>特別利益</b>	2,081	2,655	+574	
<b>投資有価証券売却益</b>	2,081	2,655	+574	
<b>特別損失</b>	1,436	10,185	+8,748	
<b>投資有価証券評価減</b>	7	618	+611	
<b>退職給付引当金繰入額</b>	—	9,567	+9,567	
<b>オフィス統合移転費用</b>	1,429	—	△1,429	
<b>法人税等</b>	19,725	19,829	+104	
<b>当期純利益</b>	27,019	28,157	+1,138	+4.2%

# 連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2007年3月期	2008年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	50,752	115,854	+65,101
営業活動によるCF	39,583	31,806	△7,777
投資活動によるCF	△18,578	△47,925	△29,347
(除く、資金運用目的投資)	△27,099	△37,424	△10,325
フリー・キャッシュ・フロー	21,004	△16,119	△37,124
(除く、資金運用目的投資)	12,484	△5,617	△18,102
財務活動によるCF	44,040	△23,537	△67,577
(うち新株予約権付社債の発行)	50,000	—	△50,000
(うち自己株式の取得・処分)	776	△14,176	△14,953
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	△672	△729
現金及び現金同等物の期末残高	115,854	75,524	△40,329

# 連結受注残高

(百万円)

	2007年3月末	2008年3月末	増減額	増減率
コンサルティングサービス	3,054	3,826	+772	+25.3%
開発・製品販売	22,428	19,149	△3,279	△14.6%
運用サービス	109,647	120,223	+10,576	+9.6%
ITソリューションサービス	132,075	139,372	+7,297	+5.5%
合 計	135,129	143,199	+8,069	+6.0%
うち、翌期分	130,790	142,325	+11,534	+8.8%